

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

平成24年 7月 6日

愛知県知事 殿

提出者

住 所 愛知県安城市箕輪町197-3

氏 名 三研工業株式会社

代表取締役 沓名正文

電話番号 0566-76-8141

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	三研工業株式会社 福釜工場
事業場の所在地	愛知県安城市福釜町蓬野175
計画期間	平成24年4月1日～平成25年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	24：金属製品製造業
②事業の規模	製造品出荷額：4億9999万円
③従業員数	33人
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	メッキ処理工程 脱脂工程：腐食性廃アルカリ → 特別管理産業廃棄物処分業者に委託して中和処理(減量) → 脱水処理 → 埋立処分 酸洗工程：腐食性廃酸 → 特別管理産業廃棄物処分業者に委託して中和処理(減量) → 脱水処理 → 埋立処分 → 再資源化 色付け工程：特定有害廃酸 → 特別管理産業廃棄物処分業者に委託して還元処理(減量) → 脱水処理 → 埋立処分

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
<pre> graph TD     A[社長] --- B[福釜工場工場長 (廃棄物処理総括責任者)]     B --- C[技術課 (産業廃棄物管理担当課)]     C --- D[産業廃棄物管理者 (産業廃棄物管理責任者 特別管理産業廃棄物管理責任者)] </pre>			
特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（平成23年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	腐食性廃アルカリ	腐食性廃酸
	排出量	119.73 t	8.31 t
	(これまでに実施した取組) ・脱脂液のリユース：脱脂液のリユースを行い、腐食性廃アルカリの排出量を抑制させた。 ・液更新頻度の延長：液更新の期間を延ばす取り組みをした事により排出量を抑制させた。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	腐食性廃アルカリ	腐食性廃酸
	排出量	130 t	18 t
	(今後実施する予定の取組) ・脱脂液のリユース：脱脂液のリユースを継続する。 ・目標排出量について：発生量は、生産量（受注量）の増減により大きく変動する。今年度は、生産量が増加すると予想されるため、目標値を23年度発生量よりも高く設定しました。		
特別管理産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・腐食性廃アルカリ、腐食性廃酸、特定有害廃酸（現在無し）、特定有害廃アルカリ（現在無し）はそれぞれに分別し、保管している。		
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・実施する予定はない。		

## (第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（平成23年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	腐食性廃アルカリ	腐食性廃酸
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	6 t	0 t
	（これまでに実施した取組） ・脱脂液のリユース：前年度の計画を実施し、脱脂液のリユースを行った。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	腐食性廃アルカリ	腐食性廃酸
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	12 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） ・脱脂液のリユース：脱脂液のリユースを継続する。又、他ラインへの展開により、リユース量を増やす。		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（平成23年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	腐食性廃アルカリ	腐食性廃酸
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
（これまでに実施した取組） ・特に実施していない。			
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	腐食性廃アルカリ	腐食性廃酸
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
（今後実施する予定の取組） ・実施する予定はない。			

## (第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
① 現状	【前年度（平成23年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	腐食性廃アルカリ	腐食性廃酸
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	腐食性廃アルカリ	腐食性廃酸
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・実施する予定はない。		
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（平成23年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	腐食性廃アルカリ	腐食性廃酸
	全処理委託量	113.73 t	8.31 t
	優良認定処理業者への処理委託量	88.92 t	8.31 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・優良認定処理業者への処理委託量を増加させている。		

②計画	<b>【目標】</b>		
	特別管理産業廃棄物の種類	腐食性廃アルカリ	腐食性廃酸
	全処理委託量	118 t	18 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	118 t	18 t
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・優良認定処理業者への処理委託、選定を行う(委託100%を目指す)。</li> <li>・委託先処理業者には定期的に実地確認を実施する。</li> </ul>		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 8 ※欄は記入しないこと。